

県労連 あおり

2013年11月5日 第278号

発行所 青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19 Tel 017-762-6234発行人 青森県労働組合総連合（毎月5日発行）定価 10円
1992年10月30日 第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。

寒風をつき、力強くデモ行進

燃 核
原 発
ゼ ロ

あおり集会に二百名 10・13全国行動に連帯

10月13日（日）午後、青森駅前公園に寒風をつき200名が参加、核燃サイクル施設立地反対連絡会議主催の「核燃・原発ゼロあおり集会」が開催されました。これは当日、東京で開かれた首都圏反原発連合、原発をなくす全国連絡会、さようなら原発一千万人アクション3団体合同による全国行動の連帯集会でした。

安倍首相は国際オリンピック委員会総会で、福島原発汚染水漏れについて「状況はコントロールされている」「完全にブロックされている」と、事実を大きくねじ曲げる発言をし、国内外から厳しい非難を浴びました。汚染水漏れは今なお続き、海に流出するなど制御不能の危機的状態なのが実態です。

主催団体代表委員のひとり、奥村県労連議長は「未だに原発事故避難者は約15万人。全原発廃炉を求めるパブリックコメントは80軒以上。国民主権を踏みにじる姿勢は許せない」と怒りを込め挨拶しました。

続いて、核燃だまっちゃおられん津軽の会、下北の原発を考える会、原発なくそう！西北五連絡会、県民



▲集会の参加者

医連の代表らがリレートークで決意を述べ、青森県から原発・核燃をなくそうと訴えました。

集会宣言採択のあと、駅前から官庁街、商店街と約2kmをデモ行進しました。

3市で「年金一揆」

青森、弘前、八戸

今年の「年金一揆全国統一連帯行動」の県内行動は青森、八戸、弘前の3市で

活かし、守ることが大切だと強調し、自民党改憲草案の危険性を詳しく説明。講演会後には、県九条の会の総会も開催されました。

小沢 隆一 憲法講演会 学び、活かし、守ろう！

10月6日午後、青森市西部市民センターを会場に、青森県九条の会主催の「小沢隆一憲法講演会」が開催されました。共催は「県・市町村長九条の会」や各地の9条の会など8団体。県内各地から180名が参加しま

した。小沢氏は東京慈恵会医科大学・憲法学教授で「九条の会」事務局員。講演の中で氏は、改憲をめぐる動きは、憲法制定以来最大の危機を迎えていると警鐘を鳴らしました。とりわけ内閣の声明ひとつで集団的自衛権行使を容認する実質的な改憲策動の乱暴さを強く批判。改憲を許さないために今、憲法を学び、



講演する小沢隆一氏

県年金者組合の千代谷邦弘委員長は主催者あいさつで、今回の減額に続いて毎年減額になるマクロ経済スライド制の導入、更なる支給開始年齢の引き下げなど今後の改悪案にも触れ、強く抗議。集会宣言採択のあと、冷雨のもと繁華街を力強くデモ行進しました。



▶青森集会のデモ行進

国会論戦と国民大運動

安倍内閣発足後、初の本格論戦の場、秋の臨時国会が10月15日から12月6日までの会期で既に始まっています。

「世界で一番、企業が活動しやすい国」「海外で戦争の出来る国」づくりを目指して、傲慢に突き進む安倍内閣。

国民には歯止めのない負担増の押しつけ、アメリカと大企業には大盤振舞いの政治姿勢は格差と貧困社会を底なし

にします。さらには、歴史の歯車を逆回転させる比類なき復古主義政治でもあります。

メディアが持ち上げる自民党の「一党優位」は偽りの姿で支持基盤は希薄なのが真相。安倍内閣の破廉恥で嘘つきな反国民的正体を、白日の下にさらす国会にしたいものです。

要求で一致する政党と連携した幅広い国民的大運動が急務です。（T）

八戸では16日夜、八戸ポータルミュージアム「はっち」を会場に、8団体による実行委員会方式で開催され、台風通過の暴風雨にもかかわらず33名が参加。各団体からの活動報告を受けました。

弘前は20日夕方に開催。会場の津軽保健生協本部会議室に53名が参加。不服審査請求の学習会と抗議集会のあと、強雨について商店街をデモ行進し、年金改悪反対を訴えました。

■天高く馬肥ゆる秋、定年過ぎても食べ物がおいしく、ちょっとメタボさ。先日人間ドックで検査したら、コレステロールと前立腺の値が少々高めと言われた。食欲の秋、地産地消の食べ物だからおいしいし、やめられない。■これがTPP協定妥結なんてことになったらどうなるのか、安かろう悪かろうで、いつも食の不安に怯えながら口を動かすことになるだろう。産地も遺伝子組み換えも、農薬の種類も皆目わからず、学校の給食も地産地消はご法度になるだろう。■ま、私にとっては怖くて量を食べられない分、メタボ解消にはなるかも知れないが、マスコミを賑わしている割には政府からの公式な説明がない。しかも「守るべきものは守る」と約束した重要5項目について譲歩をちらつかせている。秘密保持契約をタテに説明できないとか。公約違反も甚だしい。■秘密と言えは、特定秘密保護法の悪巧み、最高刑が10年の懲役。秘密がよほど好きか、知られてはまずいことが大量にあるんでしょ。きつと。政府と国民の間に秘密があってもいいの。いずれにしてもおいしいものは安全・安心であってほしい。■くれぐれも食欲の秋を取り戻そう！がスローガンにならないようにいまからせいぜい頑張るしかないようだ。（今）

県労連 組織拡大強化交流集会

嘆きを怒りに、さらに要求へ

10月19日(土)午後、県教育会館会議室で県労連「組織拡大強化交流集会」を開催しました。県内各地から23名が参加。基調講演は県生活と健康を守る会前会長で元全林野川内分會書記長の小浜秀雄氏でした。



小浜氏(正面右)の経験を聴く参加者

奥村県労連議長が開会の挨拶で「低賃金と負担増で嘆きが満ちているが、怒りに変えられていない。怒りを更に要求に変え、組織を増やそう」と訴えました。

講師の小浜氏は「職場・地域に根ざした原則的な労働組合運動」と題して、半世紀ほど以前に氏が中心に関わった全林野川内分會の労使紛争の経験を述べました。経営者・警察一体となった猛弾圧の中、創刊されたばかりの『学習の友』誌を大量普及。徹底した学習と家族・地域住民との連帯の力で反撃。大きな成果を勝ち取った教訓を強調しました。

国公賃下げ違憲 訴訟学習決起集会

10月24日夜、アピオあおもりを会場に「国公賃下げ違憲訴訟学習決起集会」が開かれました。主催は青森県国公

参加者は23名でした。国会決議をもとに、2012年から初めて人事



講師の尾林芳匡氏

院勧告によらない国家公務員の賃下げ(月平均7・8割減を2年間)が始まっています。講師の違憲訴訟弁護団・尾林芳匡氏は、労働基本権の剥奪は代償措置として人事院勧告制度があるから論拠としてきたのが従来からの国の姿勢。人事院勧告によらない賃下げは、論理破綻で明らかに違憲と強調しました。

名の決意表明を受けました。原告団のA氏は、青森生存権裁判の闘いに触れて勇気が出たこと、B氏は年収50万円以上も減り、許せないと述べました。

秋のキャラバン 県内行動が次々

各団体・単産によるキャラバン県内行動が次々実施、または計画されています。日本医労連の「いのちを守る全国一斉キャラバン」県内行動が10月2日から21日に、県社保協の県内自治体要請キャラバンが10月28日から11月5日。全労連「憲法・全国縦断キャラバン」県内行動が11月1日に青森・弘前、5日には八戸・

非正規の雇用安定を ひだまりユニオン 秋季要求

ひだまりユニオン青森分会は10月15日に、津軽分会は16日に秋闘要求書を提出しました。要求項目は、昨年10月公布、今年4月施行の「労働契約法の一部を改正する法律」を根拠として、非正規職員の雇用安定を求める内容になっています。同法は無期雇用への転換・雇止め禁止・不均

賃金議論のあと、田中県労連事務局長が2015年までに150万人全労連と7千人県労連の実現を訴える基調報告。県教組と全労働から活動・経験報告を受けました。意見交流では次々と発言が続きました。



定期大会で記念写真

衡待遇の改善など、非正規職員の雇用に関するルールを定め、従来の最高裁判例を、はっきりと法令化しています。

全労連加盟単産の生協労連は、コプあおもり労組など、全国的に有期雇用の無期化を既に実現していますが、労働相談からも有期雇用の雇止め問題はあとを絶ちません。法施行後は、合理的理由がない雇止めは解雇権の濫用法理の適用範囲が広がりました。

十和田・三沢。県教組による毎年恒例の教育委員会訪問・懇談活動が10月末で35市町村という状況。

10月2日には、「なくせ塵肺全国キャラバン」が青森入り、建交労岩手県支部が共同行動をしました。



松葉づえや

ギプスもはずれ、リハビリの日々です。(細川弘彦・年

第276回 まちがいさがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて送って下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などをぜひお寄せ下さい。正解者の中から



まちがいは7つ



ら抽選で図書券をプレゼントします。
●締切 12月15日
●発表 12月号
●宛先 〒030-0852 青森市大野字宮宮 165-119 FAX、メールは欄外に表記。第276回まちがいさがし係りまで。
第274回の答えと当選者

- 《答え》
- ① 女性が持つオール
 - ② 魚の尾びれ
 - ③ 左下の女性の髪
 - ④ 左下の女性のスカーフ
 - ⑤ 白鳥ボートのくちばし
 - ⑥ 木
 - ⑦ 建物の屋根
- 《当選者》
- 19通の応募で全員正解でした。当選者は次の方々です。おめでとうございます。吉田和子(年金者組合)、諏訪貴輝(つがる西北五地域連合職員労働組合)、笹原美子(高教組)、佐藤達也(東北労金労組)

金者組合

少しずつ秋になってきました。(起田富子・年金者組合)

今の政治は

反対方向に進んでいる。悲しんではいけない。種々なアクションを！(吉田和子・年金者組合)

夫婦で

バドミントンを始めました。(成田夏彦・年金者組合)

4月から再雇用で

働き、無事に半年が経ちました。(工藤順勝・私教連)

身体の不調を限り、

活動に参加します。オリンピックで眼をそらされてはいられませんから。(村田

最近の夜が

寒くなってきたので、毛布を出しました。(佐藤達也・東北労金労組)

もうすぐ冬です。

その先には、春が待っています。(中村龍平)

書類探して

主任に机をチェックされ、疑われました。自分がしまい忘れたのに。とても苦痛でした。(笹原美子・高教組)

権力の監視という

使命が抜け落ちたジャーナリズム。自ら勉強して情報を分析、真の狙いを見抜かなければならない。(長内一・建交労)

自転車ライフは

身体、家計、環境に優しく、石三鳥。気持ちいい！(工藤哲子・年金者組合)

暖かい日が続いて

いるので、太陽さん(SUN)に、感謝です。(宇部好子・県教組)

